



平野 一郎

出雲の春音楽祭2018

天才モーツァルトと2人のコンポーザー



鈴木 輝昭



Vol.1
2018.3.18 [日]
14:30 開演 (14:00開場)

第1部

モーツァルト 作曲 /
歌劇「フィガロの結婚」序曲

世界初演
出雲國の神話・伝承・風土に拠る、管弦楽(及び声楽)の為の連作

平野一郎 作曲 /
交響神樂・第二番〈遠呂智〉
交響神樂・第三番〈羅摩船〉

指揮 / 中井 章徳
管弦楽 / 出雲フィルハーモニーフェスティバルオーケストラ
児童合唱 / 出雲Jr.フィル・ジュニアコーラス

第2部

コンチェルト・オペラ形式によるハイライト公演
モーツァルト 作曲 /
歌劇「ドン・ジョヴァンニ」
(イタリア語上演・日本語字幕付 約60分)



ドン・ジョヴァンニ
山本 忠寿



ドンナ・アンナ
柳 くるみ



演出
唐谷 裕子

指揮 / 中井 章徳
管弦楽 / 出雲フィルハーモニーフェスティバルオーケストラ
合唱 / 出雲フィルハーモニーアクティングクワイア

八雲立つ 天 の調べ



音楽監督・指揮
中井 章徳

Vol.2
2018.3.25 [日]
14:30 開演 (14:00開場)

第1部

吉崎克彦 作曲 /
「かごめ」の主題による箏四重奏曲
宮城道雄 作曲 / 「瀬音」(第二重奏)
宮城道雄 編曲 / 「荒城の月」
(胡弓・箏二重奏)
沢井忠夫 作曲 / 「石筍」
指揮 / 畑山 洋平
箏・胡弓 / 帯名 久仁子
邦楽合奏 / 出雲の春フェスティバル邦楽合奏団



箏・胡弓
帯名 久仁子

第2部

出雲に歌い継がれる
いのちのうた。よろこびのうた。
「出雲讃歌」作曲家鈴木輝昭氏を迎えて
太古から未来へ
〜 唱い交わす交声詩〜
大岡信 作詩 鈴木輝昭 作曲 /
頌歌 天地のるつぼ
—— 出雲讃歌 ——
指揮 / 鈴木 輝昭
合唱 / 出雲の春フェスティバル合唱団
ピアノ / 鈴木 あずさ
トーク
作曲家 ×
マエストロ

大社文化プレイスうらら館 だんだんホール

入場料 (全席自由・税込) 【各公演】 一般1,500円(当日1,800円) 学生800円(当日1,000円) ベア2,500円(前売のみ) 【両公演】 両日通し券2,500円
*就学前のお子様の入場はできません。無料託児サービスをご利用ください。(Vol.1) 3/1(木)までに要予約。(Vol.2) 3/8(木)までに要予約。

Amadeus

プレイガイド 【出雲】大社文化プレイスうらら館・出雲市民会館・ビッグハート出雲・平田文化館・ササノオホール・アツタ楽器・ゆめタウン出雲・ゆめタウン斐川・ラピタ本店
【松江】島根県民会館チケットコーナー・プラバホール 【ローソンチケット】Lコード 62322 ※ローソンチケットでの両日通し券の取扱いはありません。

主催：公益財団法人出雲市芸術文化振興財団・出雲市・出雲市教育委員会・出雲の春音楽祭実行委員会
後援：朝日新聞松江総局・共同通信社松江支局・山陰中央新報社・産経新聞松江支局・時事通信社松江支局・島根日日新聞社・日本経済新聞社松江支局・読売新聞松江支局
毎日新聞松江支局・NHK松江放送局・TSK山陰中央テレビ・日本海テレビ・BSS山陰放送・出雲ケーブルビジョン・ひらたCATV株式会社・エフエム山陰・エフエムいずも
島根県吹奏楽連盟・島根県吹奏楽連盟出雲支部・島根県合唱連盟・島根県合唱連盟出雲支部・出雲邦楽邦舞の会
助成：平成29年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業
お問合せ・託児のお申込み：公益財団法人出雲市芸術文化振興財団(出雲交流会館) TEL 0853-21-7580 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)

アマデウス カルテット 4つのステージで彩る、出雲の春の四重奏

名作映画のタイトルにもなっている「アマデウス」。ラテン語「amo:愛する」と「deus:神」で、「神に愛された…」という意になることから、モーツァルトはそれを自分のミドルネームにしました。今回の出雲の春音楽祭は、天才モーツァルトを中心に、出雲にゆかりの深い2人の邦人作曲家、鈴木輝昭氏と平野一郎氏にご登場いただき、「出雲ならではのクラシック音楽」を、2週にわたって4つのステージでお届けします。


Vol.1は、オーケストラの祝祭コンサート。昨年の初演で驚愕ともいえる感動を呼び起こした、平野一郎氏の《連作交響神楽》の続編2作の世界初演と、モーツァルトの歌劇《ドン・ジョヴァンニ》ハイライトの二本立て。イタリア仕込みで高い歌唱力を持つ、ソプラノ歌手・柳くるみ氏と、豊かな表現力と演技力を持つバリトン歌手・山本忠寿氏をゲストに迎え、個性豊かな5名の地元キャストと共に、悲劇と喜劇が一体となった

ドラマチックなステージを創出します。前回《カヴァレリア》で出雲人を虜にした唐谷裕子氏の演出にもどうぞご期待！

Vol.2は「邦楽アンサンブル」と「合唱」による2つのステージ。国際的に活躍されている箏奏者・帯名久仁子氏がコーディネーターする、雅やかな箏の調べに始まり、後半は、出雲から世界に放たれたカンクータの作品「天地のるつぼ～出雲讃歌」を、初演以来16年ぶりに、作曲家自身の指揮で上演します。

神に愛された…といえば、「神話のふるさと・出雲」こそ、まさにアマデウス。八雲立つ「天」の調べを奏でるにふさわしい「大社文化プレイスうらら館・だんだんホール」にて、ご来場をお待ちしています。

出雲の春音楽祭 音楽監督/指揮者 中井 章徳




心ふるえる音霊の森へ！

「くにこ、くにこ！」——第一番《國引》にて産声あげた《連作交響神楽》。交響神楽とは、交響曲と神楽という東西二様の表現の結び目に顕れる、いわば未来の伝統芸術。

その第二番は《遠呂智》。誰もが知るあの八俣遠呂智の物語。流離の英雄が里人なやます八頭一体の巨龍を退治、尾に隠れた宝剣奪って天に献上、助けた姫を娶って目出度し。記紀に描かれ風土記には現れぬ、須佐之男様の大手柄。勧善懲悪の筋書の隙間にギリと光る十六の赤い眼と、逐われし神の視た真実、オーケストラが迫ります。

第三番は《羅摩船》。天の神様の指間から零れ落ち、蛾の羽まといがガイモの船漕いで本邦に上陸。オホナムチの神と国作りを成した後、粟穂に弾かれ常世國へ飛び去った、虫子の如く小さな神＝スクナビコナの物語。一見可愛らしい姿に謎を宿した神の足跡を、民俗の淵に探り、人の子の噂に忍び込んで、童唄の心に映しました。「すくなのかみさん、みつけた！」——無垢で残酷で美しく儂いムシやコドモの小宇宙＝小さきもの(へ)の遊びと祈りを、児童合唱とオーケストラが奏でます。

神神の首都・出雲の春の交響神楽は、忘れられた神話のほんとうを甦らせる、鳴り響くもうひとつの祭。心ふるえる音霊の森へ、さあ再び一緒に！



出雲市市制施行60周年記念委嘱作品として《頌歌 天地のるつぼ》を書かせて頂いたのは2001年、管弦楽を伴って全曲初演が成されたのは2002年春のことでした。それからおよそ16年の歳月が流れましたが、現在に至るまで、出雲市では《天地のるつぼ》が演奏され続けています。作曲家としてそれは至福の思いであり、音楽を通じて常に出雲の方々と繋がっている事を感じています。故人となった大岡信氏と出雲の地を巡り、作品の構想について語り合った記憶は、今でも鮮明に蘇ってきます。

この度「出雲の春音楽祭2018」にお招き頂きました事を大変光栄に存じております。自身で作品の指揮をするのは2002年の初演以来となりますが、再び出雲の皆様との合唱と一体となり、共に舞台上で立っての喜びを全身で表現したいと願っております。新たな息吹に満ちた【出雲讃歌】の誕生を目指して。

3.18 [日] 出演 出雲フィルハーモニーフェスティバルオーケストラ 出雲Jr.フィル・ジュニアコーラス 出雲フィルハーモニーアクティングクワイア



3.25 [日] 出演 出雲の春フェスティバル邦楽合奏団 出雲の春フェスティバル合唱団



Profile

バリトン 山本 忠寿
浜田市出身。くらしき作陽大学大学院音楽研究科音楽専攻声楽領域修了。同大学オペラ研究員を3年間務める。声楽を蓮井求道氏に師事。北九州シティオペラ、ひろしまオペラハウスなど主要キャストを務め、「フィガロの結婚」、「ジャンニ・スキッキ」ではタイトルロールを務めた。2010年出雲の春音楽祭・出雲オペラ「椿姫」ではオビニール役で出演している。現在、広島在住。

ソプラノ 柳くるみ
岡山市出身。くらしき作陽大学音楽学部卒業。同オペラ研究生修了後、イタリアへ留学。声楽を虫明和子、仁志田正人、蓮井求道、F・プランディーニ、M・マスティエーノの各氏に師事。2016年ベニャミーノ・ジュー国際声楽コンクール特別賞を受賞。2017年、ミラノ・ヴェルディ音楽院声楽科Biennioコースを満点で卒業し、イタリア各地でオペラに出演。第36回飯塚新人音楽コンクールで第2位を受賞。

箏・胡弓 帯名 久仁子
津和野町生まれ。3歳より母の手ほどきを受け、10歳より地歌三絃を始める。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業、同大学院修士課程修了。「題名のない音楽会」などのTV番組にも出演し、国内外でのコンサートや各種レコーディングなど幅広い演奏活動を行っている。箏曲ことのね会主宰。宮城合奏団メンバー。箏曲宮城社大師範。東京藝術大学音楽学部邦楽科講師。

出雲フィルハーモニーフェスティバルオーケストラ
「音楽」と「出雲」を愛する音楽人による祝祭オーケストラです。プロ・アマ問わず、老いも若きも心を通わせ、交響楽の新たな可能性を皆さまに発信していきます。古く天才作曲家による珠玉の作品と、さらなる発展を遂げる祝祭オーケストラにどうぞご期待ください。

出雲の春フェスティバル合唱団
一般公募により集まった合唱愛好者によって結成された合唱団。2002年の初演から歌い続けたメンバーから新メンバーまで、出雲の誇りを胸に新たな「よるこびのうた。」となるハーモニーを追求しています。古代出雲への呼びかけから、現在を経て未来に強く生きようとする決意と希望を、鈴木輝昭先生の指揮のもと歌いあげます。

出雲の春フェスティバル邦楽合奏団
邦楽を愛し、流派・団体の枠を越えて研鑽を積みながら、ともに奏でる喜びを分かち合う人々によって結成された祝祭合奏団。箏アンサンブルを軸に、和・洋さまざまな楽器とのアンサンブル、合唱との共演、音楽物語への取組など、日本の伝統音楽における新たな響きの可能性を追求しています。



大社文化プレイスうらら館
[〒699-0711 島根県出雲市大社町杵築南1338-9 TEL 0853-53-6500]
駐車場は台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用になるか、お車でお越しの方はできるだけ乗り合わせてご来場ください。

お問合せ
公益財団法人出雲市芸術文化振興財団 (出雲交流会館)
〒693-0002 島根県出雲市今市町北本町2-1-10
TEL 0853-21-7580 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
URL <http://izumo-zaidan.jp/>